

## 2) 令和3年度教育学部初任者研修

- ・日時: 令和3年9月16日(木) 10:00~
- ・対象者: 村上昇学長、山下愛実助教
- ・場所: 1号館小会議室において
- ・研修内容:

福田亘博教育学部長が、令和3年度採用の新任教員2名を対象に「初任者研修」を行った。なお、村上昇学長は所属を教育学部教授として配属されたため、所属学部で初任者研修を行った。

研修内容は、まず、教育学部の平成26年度開学～現在に至るまでのFD活動(FD委員会の活動として、FD 研修会、学生による授業評価と教員による授業点検シートなどによる授業改善等)、最近の文部科学省の動向などの説明があった。ついで、教育学部の教員採用試験現役合格率が県内トップとなっており、全国の教育学部のランキングでは上位となっていることが紹介された。

さらに、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの3つのポリシーについて説明があり、その中でも、カリキュラム・ポリシー実施の方針として成績評価を厳格・透明性を担保しつつ公平に実施すること、ディプロマポリシーに掲げる素養を身につけるように授業等を工夫して欲しいとの説明があった。また、学生の授業外学修時間では3、4年生ではほぼ設置基準が求める時間数に達しているが、1、2年生において不足していることから、授業外学修時間を増やすように工夫して欲しいとの説明があった。そのほか、高等教育無償化の制度について、制度と学習支援の認定要件の説明があった。4分の1以下の成績の学生は、1年間の猶予で成績が改善できない場合は無償化の適用から除外されることから、該当する学生について注意を払うように要請された。

最後に、本学における教員の担当コマ数、配分される研究費(額)、科研費等の競争的資金の拠出割合について説明があった。